

学校再編ニュース

《第2号》(平成23年7月25日発行)



《発行》 小樽市教育委員会(適正配置担当)

電話 0134-32-4111(内線 533)

FAX 0134-33-6608

Eメール gakko-tekisei@city.otaru.lg.jp

市民の皆さんの理解と協力により学校再編を進めていきます

学校再編の状況についてお知らせします (平成23年3月15日以降)

小樽市教育委員会では、小中学校児童生徒の教育環境の向上を図るため、全市的に学校再編を進めています。

「学校再編ニュース《第1号》」(平成23年3月15日発行)では、昨年9月から今年の2月までの取組についてお知らせしました。

この第2号では、3月以降の学校再編の状況をお知らせします。

「塩谷・長橋地区」「高島・手宮地区」「南小樽地区」「朝里地区」で、学校再編についての懇談会を開催し、保護者や地域の皆さんと話し合いを進めています。

量徳小については、今年2月に発足した「花園小学校・量徳小学校統合協議会」や「量徳小学校・潮見台小学校統合協議会」で、平成24年4月の統合に向け、新しい学校づくりの取組や通学の安全見守りなどの話し合いを重ね準備を進めています。

また、学校再編に合わせて、学校施設の耐震補強工事や大規模改修に着手していきます。



仮設校舎(教室)を設置 (写真は長橋中)

長橋中と桜町中では平成23年度・24年度の2年かけて校舎の耐震補強工事を実施します。

この耐震補強工事に合わせ、外壁改修などの大規模改修も行います。

両校の関係者の皆さんには、大変ご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いいたします。

この学校再編ニュースは、市のホームページに掲載しています。
また、市内の全小中学校、幼稚園・保育所の全家庭に配付させていただいているほか、町会の回覧板でもお知らせしています。

小樽市 学校再編 で [検索](#) [クリック](#)

塩谷・長橋地区

《教育委員会のプラン》

- 中学校（忍路中・塩谷中・長橋中） ■ 小学校（忍路中央小・塩谷小・幸小・長橋小）
- 学校数 3校 → 統合後 **1校** 学校数 4校 → 統合後 **2校**
統合校の位置 長橋中 統合校の位置 幸小・長橋小

塩谷・長橋地区では、中学校の統合を先行することを提案し話し合いをしています

懇談会の開催状況

平成23年6月13日 塩谷小・塩谷中合同（保護者・地域）

平成23年7月12日 忍路中央小・忍路中合同（保護者・地域）

■ 懇談会での教育委員会からの提案内容 ■

- この地区の学校再編については中学校の再編を先行し、3校の統合校の位置は施設規模の面から長橋中が適切と考えていることや、統合時期は長橋中の耐震補強工事が終了する平成25年4月が目途となることについて提案しました。
- この地区の小学校の再編は、統合校の位置を長橋小とし、中学校の再編後とすることについて提案しました。

◆ 塩谷小・塩谷中合同懇談会に参加者された方からの意見など ◆

- ◆ 保護者からは、塩谷中から長橋中へのクラブ活動などにより指定校変更する生徒が増えている現状や、今後塩谷中の生徒が減少した場合の教員の追加配置、また新入学生徒の指定校変更の弾力的運用などに対する意見や質問がありました。
- ◆ 地域の方からは、塩谷地区から小中学校が1校もなくなることは地域の衰退を招くので、塩谷地区に小学校を残してほしいとの要望がありました。
- ◆ 教育委員会の提案について、PTAとして、統合時期などを含め小中保護者合同で意見交換を行いたいとの話がありました。

◆ 忍路中央小・忍路中合同懇談会に参加者された方からの意見など ◆

- ◆ PTAからは、忍路中央小保護者のアンケート結果では、ほぼ全員が、忍路地区に学校が残るのならこのまま通わせたい、また塩谷地区の小中学校が統合となったとしても、忍路地区の小中学校を統合することについては反対であるとの意見がありました。
また、過去には忍路地区の国道での事故が起きていることや土砂崩れがあったことなどの指摘があり、通学路の安全性や通学距離が長くなることへの不安の声が聞かれました。
- ◆ PTAから、忍路地区の小中学校を小樽市の「特認校実験モデル」として一定の期間存続させることを検討してはどうかとの提言がありました。
教育委員会としては、今回の適正化基本計画は、全ての小中学校を対象により良い教育環境づくりを目的として学校再編を進めるものであるが、小規模特認校の要望がある中で、他市で行っている実態なども示しながら議論していく旨説明しました。

高島・手宮地区

《教育委員会のプラン》 ■小学校 Aグループ（祝津小・高島小）
学校数 2校 → 統合後 **1校** 統合校の位置 高島小

高島・手宮地区では、祝津小と高島小の統合について話し合いをしています

懇談会の開催状況

平成23年6月16日 祝津小（保護者・地域）

■ 懇談会での教育委員会からの提案内容 ■

■ 高島地区小学校2校の統合校は高島小とし、統合時期は児童の事前交流期間を1年間とり、準備期間を含め最短でも平成25年4月となることについて提案しました。

◆ 懇談会に参加者された方からの意見など ◆

- ◆ 保護者からは、現在の2年生が高学年となる平成26年4月という考え方も選択肢の一つであるとの意見が出されました。（今年の1年生の入学者はいません。）
- ◆ 保護者からは、「嘆願書」を出すことにより、統合が回避されることや計画の前期から後期になるということがあってはならない、また計画が覆らないのであれば、教育委員会がはっきりと統合時期を示すべきとの意見がありました。また、他市の小規模特認校の事例について情報を提供すべきとの意見がありました。
- ◆ 保護者から、統合に伴う児童のケアについて不安があるため、統合時期を決める前であっても児童の交流事業を行ってほしいとの要望があり、市教委では学校とも相談し検討していくこととしました。

朝里地区

《教育委員会のプラン》 ■小学校（桜小・望洋台小・豊倉小・朝里小）
学校数 4校 → 統合後 **3校** 統合校の位置 桜小・望洋台小・朝里小

朝里地区では、豊倉小の学校再編や南小樽地区の若竹小との関連から桜小の学校再編について話し合いをしています

懇談会の開催状況

平成23年5月18日 桜小（保護者・地域）

■ 懇談会での教育委員会からの説明内容 ■

- 朝里地区の再編は計画の後期となっているが、隣接する南小樽地区小学校Aグループの若竹小保護者との話し合いで、若竹小の校区を中学校区で分けるプランを選択した場合、桜小の再編が計画の前期となる旨説明しました。
- 若竹小保護者との話し合いの中で、統合時期について、平成24年4月か平成25年4月という提案をしていることと、仮に保護者が桜小と統合するプランを選択した場合は、統合協議会を設置し話し合いを進めていく旨説明しました。

◆ 懇談会に参加者された方からの意見など ◆

- ◆ 懇談会に参加された方からは、若竹小保護者が桜小と統合するプランを選択した場合は、ここ1、2年の間に統合協議会を設置することについて理解をいただきました。

懇談会の開催状況

平成23年6月28日 豊倉小（保護者・地域）

■ 懇談会での教育委員会からの説明内容 ■

- 朝里地区の再編は計画の後期となっているが、昨年6月に開催した豊倉小の地区別懇談会において、地域の方から自然環境に恵まれ特色ある教育をしている学校の存続を望む声があった一方、保護者から1クラス数人での学校運営に対する不安などが出されていたことから、今回の懇談会を開催することになった旨説明しました。

◆ 懇談会に参加者された方からの意見など ◆

- ◆ 地域の方から、この学校を残す何らかの手立てはないものかと考えているが、基本的には保護者の意向によるとの意見がありました。
- ◆ 保護者からは、この学校が良い学校であると聞き子供を入学させたとの声や、3年生が1人になっている現状でのマイナス面から他校への通学を検討しているとの声もありました。
- ◆ 保護者から、朝里小か望洋台小と統合となった場合のバス通学支援についての質問があり、教育委員会としては、小中連携の観点やこの地域から朝里中に通学している実態を踏まえ、プランでは統合校を朝里小とすることが適切であると示しているが、バス通学の方法を含め引き続き話し合いをしていきたい旨説明しました。
- ◆ 保護者から、もう少し近い距離で、PTA と教育委員会が意見交換できるような場を設定してほしいとの要望がありました。

南小樽地区

南小樽地区では若竹小の統合後の校区や統合時期について話し合いを進めています

懇談会の開催状況

平成23年6月23日 若竹小（保護者・地域）

■ 懇談会での教育委員会からの提案や説明の内容 ■

- 南小樽地区小学校Aグループの若竹小の再編については、若竹小の校区を中学校区で2つに分けたプラン2を基本とし、同じグループの潮見台小、朝里地区の桜小との統合時期を平成25年4月とすることについて提案しました。
- 今年3月に出された若竹小保護者からの要望事項に対する現状での教育委員会の考え方（回答）のうち、信号機設置や青信号の時間延長などについて公安委員会に要望を行ったことの経過と、今後はPTAや町会の協力を得ながら解決を目指すこととし、再要望に向け準備を進めていきたい旨説明しました。
- 通学支援策として潮見台小へのスクールバス対応の考えがあること、また主要な通学路についてはPTAと協力しながら点検し、児童の安全見守り活動については地域やボランティアの方々と相談をしながら進めていきたい旨説明しました。
- 統合に向けた児童の事前交流について、教育委員会としては、統合前の1年をかけて行いたいこと、また桜小との統合協議会を2学期中に発足したい旨説明しました。

◆ 懇談会に参加者された方からの意見など ◆

- ◆ 懇談会に参加された方からは、若竹小の再編については、統合後の校区はプラン2を基本とし、平成25年4月の統合に向けて準備を進めていくことについて理解をいただきました。
また、PTA としては、教育委員会からの提案について、今後、保護者全体での話し合いを行いたいとの話がありました。

南小樽地区では、量徳小の平成24年4月の統合に向け、統合協議会を設置し準備を進めています

■小学校 Aグループ（量徳小・潮見台小・若竹小）

量徳小については、平成24年4月に隣接する中央・山手地区の花園小、また同じAグループの潮見台小と統合します。

このため、2つの統合協議会を随時開催し統合に向けた準備を進めています。

若竹小については、現在、統合時期や統合後の校区について話し合いを行っていますが、6月27日開催の第5回統合協議会には、若竹小の保護者や町会などの委員が参加し、名称を「量徳小学校・潮見台小学校・若竹小学校統合協議会」に変更し、協議が進められています。



6月27日に開催された統合協議会の様子

◆花園小学校・量徳小学校統合協議会◆

第2回 平成23年3月24日

第3回 4月27日 第4回 5月23日

◇新しい校名等◇

山手地区を含め、最終的に再編が完了する時点で改めて協議することとなりました。

◇新しい学校づくりの取組◇

新しい学校の教育目標づくり、教育課程編成の参考とするため、保護者や地域の皆さん、児童にアンケート調査を実施しました。

◇PTA 運営と安全マップづくり◇

保護者部会を立ち上げ、新しい学校のPTA運営や安全マップづくりなどについて話し合いを進めています。

◆量徳小学校・潮見台小学校・若竹小学校統合協議会◆

第2回 平成23年3月23日

第3回 4月28日 第4回 5月25日

第5回 6月27日（若竹小関係委員が参加）

◇新しい校名等◇

若竹小を含め、3校で改めて協議をすることとなりました。

◇3校間での段階的な協議◇

課題によっては、平成24年4月の量徳小と潮見台小の統合に向けた協議と、平成25年4月の若竹小との統合に向けた協議の2段階になることも考えられますが、いずれにしても3校で統合に向け準備を進めていくこととしています。

☆ 統合協議会ニュースは市のホームページに掲載しています ☆

◇事前交流事業◇

5月9日、3校（花園小・量徳小・潮見台小）合同の「春の遠足」を実施しました。1・2年生は入船公園、3・4年生は色内埠頭公園、5・6年生は朝里川公園で、それぞれ交流ゲームなどを行い楽しく過ごしました。



《交流ゲーム》3校合同「鬼ごっこ」（1・2年生）



《昼食タイム》3校グループ交流（3・4年生）

◇学校施設の大規模改修と耐震補強工事の状況◇

■大規模改修に着手している学校■（着手予定を含む）

花園小 校舎前通路の整備（幅員拡幅・歩車道分離）、グラウンド改修、暖房設備更新、トイレ改修等

※ 校舎・屋体の耐震補強工事は平成24年度に行い、これに合わせ外壁などの大規模改修も行います。

潮見台小 校舎の外壁・屋上防水改修、屋体の外壁・屋根塗装、小体育館屋上防水改修、グラウンド改修、暖房設備更新、トイレ改修等

長橋中 暖房設備更新、トイレ改修、屋体の外壁改修、設備工事（照明・トイレ・ボイラー）等

桜町中 暖房設備更新、トイレ改修、屋根・外壁の改修等

※ 長橋中・桜町中の校舎の耐震補強工事は、平成23年度から2か年かけて行います。



潮見台小の校舎・屋体の大規模改修

7月1日から校舎・屋体の大規模改修に着手しています。校舎は耐震診断の結果、基準を満たしており、耐震補強工事は不要となりました。

暖房設備更新

各学校の暖房機をFF式ストーブ集中制御方式へ更新します。

写真は現在の長橋中



トイレ改修

各学校のトイレを洋式化し、悪臭対策などのため改修します。

写真は現在の花園小



■耐震補強工事に着手している学校■

長橋中（校舎・屋体）、桜町中（校舎）

※1ページの写真をご覧ください

■耐震補強工事が完了した学校■

長橋小（校舎）、桜小（校舎の一部）、朝里中（校舎） 平成22年12月完了

銭函中（校舎） 平成23年1月完了 朝里小（校舎） 平成23年2月完了

■耐震診断の実施結果■

平成23年1月～5月にかけて、次の4つの学校で耐震補強工事が必要な校舎、屋体であるかの診断をしました。耐震診断の結果は次のとおりです。

高島小（校舎）、長橋小（屋体）、銭函中（渡り廊下） … 耐震基準を満たしており耐震補強工事は不要

銭函中（屋体） … 耐震基準は満たしているが、屋根ブレース材が不足しているため増設が必要

桜小（校舎の一部、屋体） … 耐震基準に満たないため耐震補強工事が必要

※ 山側（平磯側）の校舎は平成22年12月に耐震補強工事を完了

このあとの状況は「学校再編ニュース《第3号》」でお知らせします